

公文書館だよりよこて

2023.3.1

第4号

横手市公文書館は“横手市の記録を未来へ引き継ぎます”をキャッチフレーズに、令和2年5月にオープンしました。まだご存じない方にも身近に感じ利用していただくために、「公文書館だより」で公文書館の活動や情報をわかりやすくお伝えしていきます。

横手市公文書館企画展を開催中

テーマ：「公文書でたどる横手の鉄道」

期間：令和5年3月1日～7月15日

鉄道は、旅行や通勤・通学の手段として、また、農産物をはじめとする物資の輸送手段として、産業の発展や私たちの生活向上になくてはならない存在です。

しかし、車社会の到来や人口減少による利用客の減少、度重なる災害等によりその存続が危ぶまれている路線もあります。

今回の企画展は、当館所蔵の鉄道や駅に関する資料の中から、市内を通る奥羽本線、北上線、昭和46年に廃止された横荘線の駅舎や駅前の姿の移り変わり、駅設置の願いをこめた先人の取り組み、車内風景等をパネルや書籍とともに紹介しています。是非、ご覧ください。



横手市公文書館企画展
公文書でたどる
横手の鉄道



昭和29年 十字駅 二線橋再建趣意書



大正6年 沼館町地内
鉄道線路内施設物設計協定書

常設展はこちら

公文書館ホールには当館で保存している明治から昭和にかけての資料を展示しています。

明治初期の戸長役場時代の公印や、大正・昭和時代の横手案内なども展示していますのでぜひご覧ください。

また、平成22年2月22日に国指定史跡に指定された大鳥井山遺跡に関するパネルや資料も紹介しています。



横手市公文書館は、旧横手市立鳳中学校校舎棟部分を改修整備した施設です。明治(1871年の廃藩置県)以降の行政文書や行政資料を収集し、歴史的に重要とみなされる資料を「評価選別」して「保存」し、「公開」することが重要な役割です。市役所各庁舎・施設の保存年限終了後の行政文書・資料は原則廃棄されますが、歴史的に重要とみなされて公文書館に移管された資料については、「歴史的公文書評価選別ガイド」などを基準に、保存か廃棄かを評価選別します。保存する資料は目録に登載した後、箱に収納して指定の書棚に保存します。

現在の保存資料数はどれくらい？

【保存資料の状況】

令和5年3月1日現在

区分	保存(所蔵) 公文書等	目録の 公開状況
公文書	19,796	14,375 73%
刊行物	400	184 46%
記録写真・映像	610	272 45%
合計	20,806	14,831 71%

※刊行物は書籍・パンフレット・ポスターなどです。
※記録写真・映像にはレコード・録音テープを含みます。

横手市公文書館では、保存資料の目録を作成して公開し、資料利用者の皆様の閲覧に供しています。3月1日現在で、20,806点の資料を保存しています。

目録はホームページで公開しています。
<https://www.city.yokote.lg.jp/>



←詳細はこちらから

「貸室・グラウンド」をご利用ください

貸室名	使用料(税込)	面積
ルーム1	200円/時間	96㎡ (最大40人程度)
ルーム2	150円/時間	72㎡ (最大30人程度)

※市外の方が利用する場合は、料金が上記金額の2倍となります。



館内には会議などにご利用いただける貸室を2部屋設けているほか、施設の北側に隣接したグラウンドスペース(無料)は軽運動などに自由にお使いいただけます。

旧鳳中メモリアルコーナー



館内のホールには、建物の前身である旧鳳中学校の関係資料を「メモリアルコーナー」として展示しています。

～～施設利用案内～～

開館時間

午前9時から午後5時まで
※資料閲覧請求は午後4時30分まで

休館日

日曜日・月曜日・国民の祝日及び
年末年始(12/29から1/3)

※入館及び展示資料の閲覧は無料です。